



報道関係各位

2008年4月1日
学校法人北里研究所

「学校法人北里研究所」発足

健康・環境・食の連携による生命科学と医療科学の総合大学・北里大学 ～教育・研究の成果をもって、より社会に貢献する大学へ～

世界的な細菌学者で、わが国の近代医学と衛生行政の発展に貢献した北里柴三郎博士の創設による(社)北里研究所と、その50周年記念事業として創設された学校法人北里学園(北里大学)は統合し、本日4月1日より、「学校法人北里研究所」〈本部:東京都港区、理事長:柴忠義(北里大学学長)、URL:www.kitasato.ac.jp〉として新たにスタートしました。

本法人の中核である北里大学は、創設以来、46年間にわたり、「生命科学」と「医療科学」の関連領域において、「叡智と実践: Sophia Kai Ergon」をスクールモットーとし、基礎サイエンスを実践に生かせる人材を育成してきました。統合により、本学は、薬学部・獣医学部・医学部・海洋生命科学部・看護学部・理学部・医療衛生学部の7学部と、大学院感染制御科学府を始め7つの大学院研究科、北里生命科学研究所・東洋医学総合研究所・臨床薬理研究所・基礎研究所の4附置研究所、北里大学病院・北里大学東病院・北里研究所病院・北里研究所メディカルセンター病院の4附属病院を擁する大学となりました。また、2つの専門学校を設置するほか、学校法人として、日本で唯一のワクチン製造部門(=生物製剤研究所)を有することになりました。

北里大学は、各専門分野における教育・研究(=縦型の教育・研究)の深化を図る一方、基礎研究の成果を臨床応用に結びつける応用研究も推進しています。また、感染制御の基礎研究から創薬・ワクチン開発までを一貫して行う「感染制御研究・教育拠点」、安全で良質な医療協働を教育する「チーム医療教育拠点」、人の健康増進と環境の保全・創造のために、農医が連携した科学を追求する「農医連携研究・教育拠点」などの学際的な教育・研究(=横型の教育・研究)の拠点形成にも鋭意取り組んでいます。

さらに、今回の統合により、4病院が連携した臨床教育・研究の推進、西洋医学と東洋医学の長所を生かした統合的な医療の実践、安全で良質な医薬開発のためのクリニカルリサーチ(治験・臨床研究)の充実にも注力していきます。これらにより、学祖北里柴三郎博士が生涯の信条とした実学(成果を社会に還元する学問)精神のさらなる具現に努め、「健康・環境・食の連携による生命科学と医療科学の総合大学」として、本領域における新たな学問の創出と一層の社会貢献をめざしていきます。

＜8つの実践的教育・研究の概要＞

感染制御の教育・研究	感染症の脅威が世界的な規模で再燃しています。本学は、感染制御の基礎研究と教育から、ワクチン・抗感染症薬の「トランスレーションリサーチ(開発研究・臨床試験等の実学研究)」までを一貫して行える体制を有しています。具体的には、大学院感染制御科学府と北里生命科学研究所を中核とし、大学院各研究科を結合した「北里大学感染制御研究機構」の下に、感染症の治療と予防に関わる教育・研究を推進しています。
チーム医療教育	医療の構造変化や人口構造の変化に伴い、「チーム医療」が重要視されています。医療系4学部と専門学校を合わせると14職種に及ぶ国家資格の各領域において高い評価を基盤とする本学は、より安全で良質な医療に関わる医療プロフェッショナルの育成をめざしています。その一環として、医療チーム内の多種多様な医療専門職種での相互の職能が理解でき、機能的な連携が取れることを目標とした「全学チーム医療教育プログラム」を実施しています。
農医連携の教育・研究	21世紀における予防医学の目標には、ハイリスクへの対応、疾病の発生予防、健康増進と質の向上等の課題があります。このため、生命科学の広汎な領域を網羅する本学は、農学と医学を連携した「農医連携の教育・研究」を提唱し、健康・環境・食をめぐる現代的課題の解決を目標に掲げ、農医連携の科学、情報発信、プラットフォーム形成、学術交流を推進しています。

4病院の連携による臨床教育・研究	本学は、医療系4学部、2つの医療系専門学校、4病院を合わせると2,000床を越す大型医療機関を有しています。このメリットを最大限に生かし、4病院において、各学部・専門学校の特色に根ざした卒前・卒後教育、現任医療専門職の職能教育、臨床現場に直結する研究を展開しています。
西洋医学と東洋医学を統合した医療	高度先進医療の担い手である大学病院を持つ本学は、一方で、わが国の東洋医学のパイオニアでありWHO伝統医学協力センターの指定を受けている東洋医学総合研究所を有しています。このメリットを最大限に生かし、科学的基盤を背景とする先端的医療と実証的知見によって裏付けられた漢方、鍼灸などによる統合的な医療を実践しています。
クリニカルリサーチ	医薬開発は基礎研究の成果を人類に還元するいわば「究極の実学」であり、本学が最も力を投入してきた領域です。病院内に独自の第Ⅰ相治験施設を持ち、大学院薬学研究科には医薬開発のためのカリキュラムが開設され、同領域の教育研究を進めています。今般、臨床薬理研究所が加わり、クリニカルリサーチ(治験・臨床研究)における一層の充実が期待されます。
予防医療	本学は、大学院感染制御科学府、北里生命科学研究所、感染制御研究機構を設置し、とりわけ感染制御の教育研究に尽力してきました。また、麻疹、おたふく風邪、風疹、インフルエンザなどのワクチンの研究・開発・製造を行う事業部門を持つ本学は、これらの部門連携を緊密に図り、国際競争力のあるワクチンの研究・開発を通して、予防医療の向上を図ります。
生命科学の基礎的研究	近年、生命科学は、医療・食・環境など多様な分野への応用が期待されています。そのためには、充実した基礎研究が必要とされます。本学は、教育・研究目標の第一に、「生命現象の分子機構解明とその諸学問領域への活用」を掲げて、生命科学の基礎的研究を重点的に推進し、その成果を応用研究につなげています。

<法人の概要>

名称	学校法人北里研究所
代表者名	理事長 柴 忠 義(北里大学学長)
本部所在地	東京都港区白金五丁目9番1号/電話:03-3444-6161(代表)/URL: www.kitasato.ac.jp ※キャンパスは、白金、相模原、北本、十和田、三陸、新潟の6キャンパスに広がる。
発足年月日	2008年4月1日
沿革	北里研究所は、1914(大正3)年に破傷風菌の純培養の成功に続く破傷風免疫抗体と血清療法の見出しにより一躍世界に名を馳せた北里柴三郎博士により、わが国初の民間研究所として設立されました。4年後に社団法人の認可を受け、伝染病の撲滅と公衆衛生の普及に貢献してきました。1962(昭和37)年には、研究所創立50周年記念事業として、学校法人北里学園・北里大学が設立され、北里大学は当初1学部2学科で発足しました。今般、本法人は、7学部・7大学院、4附置研究所・4附属病院、2専門学校と収益事業部門を有する教育学術研究機関となりました。
建学の精神	北里柴三郎博士の業績は、「科学者としての真の学問追求」「社会事業家としての国創」「教育者としての人材育成」に集約されます。北里大学は、博士が成した学統を受け継ぎ、以下の4つのモットーを建学の精神としています。 ・開拓 — 事を処してパイオニアたれ ・報恩 — 人に交わって恩を思え ・叡智と実践 — そして、叡智をもって実学の人として ・不撓不屈 — 不撓不屈の精神を貫け
主な部門構成	【北里大学】URL: www.kitasato-u.ac.jp <学部>薬学部/獣医学部/医学部/海洋生命科学部/看護学部/理学部/医療衛生学部 <大学院>薬学研究科/獣医畜産学研究科/水産学研究科/看護学研究科/理学研究科/ 医療系研究科/感染制御科学府 <研究所>北里生命科学研究所/東洋医学総合研究所/臨床薬理研究所/基礎研究所 <病院>北里大学病院/北里大学東病院/北里研究所病院/北里研究所メディカルセンター病院 <専門学校>北里大学保健衛生専門学院/北里大学看護専門学校 <収益事業部門>北里研究所生物製剤研究所
人員構成	役員 30人 評議員 85人 職員 5,610人※ 学生 8,992人※ 卒業生 69,041人※ ※2008年2月1日現在の社団法人北里研究所と学校法人北里学園の数値の合算による

<この件に関するお問い合わせ先>

学校法人北里研究所広報部 担当:平野/山出(やまで)

TEL: 03-5791-6215・6425 FAX:03-5420-0644 E-mail:kohoh@kitasato-u.ac.jp

学校法人北里研究所組織図

